

お知らせ

第 49 回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会

第 12 回日本精神保健福祉学会学術集会

〔テーマ〕 ソーシャルワーク実践『魂』の再生～問われる価値と専門性～

〔日程〕 2013年6月13日(木)～6月15日(土)

〔会場〕 6月13日(木)・14日(金) 金沢歌劇座
6月15日(土) 金沢エクセルホテル東急



なごみの郷では石川県で行われる精神保健福祉士協会全国大会において、「レスパイト・ケア事業の取り組み」について発表します。

レスパイト・ケア事業は平成 15 年 4 月から小松市・能美市の委託事業として行ってきました。レスパイトとは本来「休息・息抜き」という意味であり、当事者及び家族が日常生活や家族関係による疲れやストレスの軽減が図れるように一時宿泊の場の提供を行ってきました。

この事業を開始して 10 年が経過した今日、これまで利用された方の思いや利用された後の状況等の聞き取りを行い、そこから見えてきた課題を分析することでレスパイトの必要性を提言する内容となっています。

自己研鑽も含め、職員一同、発表に向け一丸となって取り組みます。
(ケアホームなごみ サービス管理責任者 木村 衣里)

これまでの動き (12月～3月)

【メンボラ友の会】

- | | |
|--------------|-------------|
| 12/15 ほっとサロン | 2/14 視点の会 |
| 12/20 視点の会 | 2/18 味噌作り |
| 1/11 鏡開き | 2/25 絵手紙の会 |
| 1/17 視点の会 | 3/2 春の日の食談会 |
| 1/19 ほっとサロン | 3/14 視点の会 |
| 1/21 初釜 | 3/16 ほっとサロン |
| 1/28 絵手紙の会 | 3/25 絵手紙の会 |

【施設見学】

2/15 JICA 様 22名 (中南米)

【実習受入れ】

1/30～1/31 こまつ看護学生 1名

【販売会】

- 12/1 地域で障害を考える集い (寺井町)
12/8～10 ハピネスフェア (福井県)
12/16 こどもハッピーフェスティバル
3/24 南加賀ふれあいフェスティバル

～編集後記～

日に日に暖かさが増し嬉しい
今日この頃、春めいて来ましたね。
4月に入り新たな生活がスタート。
気を引き締めて頑張らなくては…

深田

編集人：社会福祉法人 なごみの郷
連絡先：〒923-0851 石川県小松市北浅井町 123
TEL 0761-23-7232/FAX 0761-23-7284
E-MAIL iruka@d4.dion.ne.jp
ホームページアドレス URL <http://www.nagomi-no-sato.or.jp>
発行人：北陸障害者定期刊行物協会 (富山市今泉 312)
定価 50円

増刊 HSK

なごみ通信

今月の花： 沈丁花



No.40 2013. 3

能美地域活動センター “はまかぜ” 紹介

“はまかぜ” から見た白山



能美地域活動センター “はまかぜ” は平成 24 年 3 月に能美市所有の旧中ノ江保育園跡に能美市・日本財団・関係機関のご支援をいただき、就労支援センターつばさのサテライト事業所として開所いたしました。



開所式

～就労継続支援事業B型・地域活動支援事業～

就労継続支援事業B型は当初 8 名の利用者からのスタートでしたが、現在は能美市在住の方を中心に 20 名の方が利用され、地域活動支援センター事業では 1 名の方が利用されています。

作業の様子

はまかぜの私たちは、やりがいと自信を持って作業に取り組んでいます。



印刷作業 金具の袋詰め トマトカレーの袋詰め

余暇活動の様子

行事、余暇活動の企画・交流を通して日常生活の幅を広げ、より豊かな生活を送れるように活動しています。



畑で採れた野菜を使って夏野菜カレーを作ってみました！
卓球で交流 ガーデニング会議は重要会議！

開所以来、中ノ江町・各関係機関の皆様のご理解とあたたかいご支援をいただき 2 年目を迎える事ができました。そして、平成 25 年度よりいよいよ単独の事業所として立ち上げる運びとなりました。ここに心から皆様に感謝申し上げます。

能美市は人と人が支え合う、あたたかい地域づくりに取り組まれています。今後、私共も各行事に積極的に参加し “はまかぜ” を知っていただき、微力ながら地域の障害を持たれた方々の福祉に貢献できるように力を尽くして参りたいと思います。また、利用者のご家族の方が夢と希望を持って暮らしていただけるよう、気軽に相談ができるあたたかい事業所を目指してたゆまぬ努力をして参ります。どうか今後ともご支援の程、よろしくごお願い申し上げます。

(能美地域活動センターはまかぜ センター長：小川久美)



“はまかぜ” みんなで夢に向かって
エイ・エイ・オー！

HSK 毎月十二回 (一・三・五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日) 発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

HSK 毎月十二回 (一・三・五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日) 発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

高森先生のSST講習会

3月8日(金) なごみの郷・地域交流室にてSSTリーダーでご活躍の高森先生をお招きし、利用者の方と職員を対象にしたSSTを実践していただきました。当日は、自らが体験されたエピソードも交えながら、どなたにも分かりやすい内容で講演され、会場は終始なごやかな雰囲気になりました。

(つばさ職員：富樫 尚子)



自分についての説明・自己紹介みたいな調子で進んで行き、話が進んでいくと相手を思いやる話し方、話題を挙げて説明していくので話も弾みました。人生の応援歌が良かったと思います。お願いの仕方についても、相手を批判するのではなく、都合がいいとうまく話せる。「すみませんが」のひとつこと言うだけで言葉がほぐれる言葉遣いがあり参考になりました。 Y・吉村氏

先生によると、相手に対する関心を表わしながら話を聞き、相手を認め、良いところを褒めることが非常に重要だそうです。特に、頼み事や注意したいことがあるときは、厳しい口調で話すのではなく、上記のことに留意しながら伝え、相手も快く意見を聞き入れやすくなるということです。まるで童話「北風と太陽」のようです。この方法は様々な人間関係に有効です。今後は、感謝や労いの気持ちを明確に示していきたいと思いました。 つばさ職員：宇野 結貴

自分という者がどういう者かが分かり、人との会話でも少しだけですが話してみようと思っただ。 S氏

お願いする時の頼み方が普段自分が使っている言葉があって驚いたのと、ちゃんと出来ている自分に少し自信がつかました。 坂井 貴裕氏

利用者の皆さん、大勢の人数が参加されている中でも堂々とそれぞれがご自身の意見を発言されているなあという印象を受けた。私自身大変勉強になる時間でした。 はまかせ職員：新家 あかね

嫌な長引く思いを出来るだけ思わなくするには楽しいこと・歌うことも発散のひとつであった。私の自己紹介を言えて良かったです。 高橋氏

「相手の気持ちをわかる為のポイント」として、「今を認める・褒める・お願い」の解説から始まり、さらに職員が日頃感じている仕事での悩み(困り事)を一人ひとり丁寧に答えて頂きました。改めて相手と向き合いコミュニケーションを取ることの重要性を学びました。 つばさ職員 サービス管理責任者：西東 健太

～高森先生のプロフィール～

教職10年を経て、子どもの心のアートセラピストとして幼児・小学生の美術教育に15年携わる。その後、カウンセリングの研究からカウンセラー及び養成講師の資格を取得し、1985年よりカウンセラーとして「世田谷心の相談室」に関わりながら、東大SSTリーダー養成研修を経て1989年より地域作業所や保健所のデイケア・家族会・社会福祉協議会などで当事者や家族やボランティアなどのSSTリーダーとして活躍中。

～SSTとは～

「社会技能訓練」や「生活技能訓練」と呼ばれ、対人関係を中心とする社会生活技能の他、服薬自己管理・症状自己管理などの疾病の自己管理技能や身辺自立(ADL)に関わる日常生活技能を高める方法として普及している訓練の方法。

【主な著書】

「あなたの力が家族を変える」ハートピアきつれ川 発行
「家族が知りたい統合失調症への対応Q&A」 日本評論社発行
「心を病む人のための高森流コミュニケーションQ&A」 //

24年度障害者自立支援基盤整備事業

平成24年度障害者自立支援基盤整備事業の補助金申請が通り、この度、厨房部門の業務用食器洗浄器を新型機種に買い換えることが出来ました。

従来の機種と比べると洗浄力もすすぎ力もアップしランニングコストも大幅に削減。利用者の方にも使いやすい構造でさらに作業効率も上がると期待されます。

(つばさ職員 栄養士：番千恵子)



日本の行事・文化と共に

くろゆりの活動の中には、季節が感じられる行事や日本古来の文化を味わう行事が皆との話し合いの中、行われています。2月は節分の意味を調べ、恵方巻き作りや豆撒きを行い、3月のひな祭りには、ひし餅の色の所以やひな飾りの人形の意味を話し合いました。楽しく飲み食いするだけでなく、自分たちの暮らす日本の文化について話し合うことで新たな発見があります。発見・感動することで、心も豊かになった気分です!!



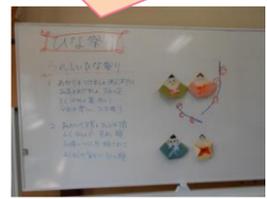
賑やかな豆まき前には、南南東を向いて静かに恵方巻きを食べました!

クイズの正解はくろゆりに聞いて

ここで皆さんに〇×クイズです (くろゆりで質問があり、皆で調べました!)

- ①節分に投げる豆は米でも良い。〇か×か?
- ②ひな飾りの下段にいる仕丁の1人が赤い顔なのは怒っているからだ。〇か×か?
- ③ひな飾りを早く片付けないとお嫁に行けないというのはホントである。〇か×か?

(くろゆり職員：中村 有紀)



第14回春の日の食談会

平成25年3月2日(土)

当日は約60名の参加者が集い親睦を図りました。この会はメンボラ友の会・くろゆり会・青葉会・なごみの郷の共同開催で毎年3月に行われています。

テーブルを囲んで皆さんとお食事しながら、普段なかなかお会いできない方たちともお話しすることが出来、共に楽しい時間を過ごせました。

他にもコーちゃんによるマジックショーやピンゴ大会、輪踊りなども催され、参加者からは沢山の笑顔が見られ、温かく素敵な時間が流れていました。(ケアホームなごみ職員：海老原 綾)

《参加した利用者の方の感想》

- ・出会いがあって充実した日だった
- ・なつかしい人たちに会えて嬉しかった
- ・和気あいあいとしてとても良かった
- ・知らない人たちと話が出来て楽しかった
- ・同じテーブルの人とも対話が出来、話が弾んだ
- ・また参加したい
- ・ゲームや踊りが楽しかった
- ・食事がおいしかった
- ・内容の濃い2時間だった



加藤さんの乾杯の音頭でスタート!

荒田理事長挨拶



司会の吉村さん。浴衣姿がステキ!

手作りデザートのコーヒーゼリー。フルーツたっぷりで美味しかったです。

